

10月はピンクリボン月間です 乳がん検診していますか？

乳がんについて

生涯に乳がんを患う日本人女性は、12人に1人とされています。しかし、日本の乳がん検診受診率は先進国の中で最も低く、死亡率は増加傾向にあります。乳がんは早期発見し適切な治療を行うことで、良好な経過が期待できます。

年齢別で見ると、40歳代後半に最も多く乳がんを発症しています。この年代は、仕事や子育て、介護など多くの役割を抱えています。日々忙しく検診に行く余裕がないという方もいるかもしれませんが、早期発見するためにも検診を受けることが重要です。

乳がんは、40歳以上、未婚や未産、高齢出産、肥満（閉経後）、家族に乳がんになった人がいるなどの要因で発症しやすいとされています。

乳がん検診について

◆ 月に一回の自己検診を心がけましょう！

普段から見て触って胸の状態を知っておくことで、些細な変化に気付くことができるようになります。

◆ 40歳以降は、2年に一回、乳がん検診を受けましょう！

乳がん検診では、マンモグラフィを行います。その他に超音波検査などもあります。検診についての詳細は、市役所などにお問い合わせください。若い人や乳腺が発達している人は、マンモグラフィで乳がんを発見するのが難しくなります。

自己検診の方法について

○閉経前の人は

月経終了後1週間以内に行いましょう。

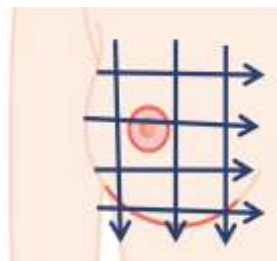
○閉経後の人は

毎月一定の日を決めて行いましょう。

1. まず、見て確認



2. 次に、触って確認



渦巻き式

平行線式



- ① 乳輪のびらん
- ② 乳頭の陥没
- ③ 皮膚の色調変化
- ④ くぼみやひきつれはないか

- ⑤ 乳首をしぼり、分泌物がないかチェック
- ⑥ しこりがないか、4本の指をそろえて首と鎖骨周辺、脇と乳房全体をチェック

上記①～⑥の症状がある場合は、まずはかかりつけ医にご相談ください

♪ 乳腺外科専門医 山崎 希恵子 乳がん看護認定看護師 仲 美幸 ♪

♪ 多摩南ミ二通信をご希望の方は、患者支援センター地域連携部門までお問い合わせください ♪

今月の医療 婦 人 科

子宮内膜症かも？

月経痛がだんだん悪化しているような・・・



性交時や排便時に膣の奥が痛いときがある・・・

このような症状がある場合、子宮内膜症かもしれません

どのような病気なの？



子宮内膜に似ている組織が、子宮内腔以外に増殖する疾患です。

月経のある人ではおよそ 10 人に 1 人が子宮内膜症に罹患しているといわれています。

問題は？



上記の疼痛以外にも下腹部や腰の痛み、不妊症や腹腔内癒着の原因にもなります。

卵巣の病巣は子宮内膜症性嚢胞（卵巣チョコレート嚢胞ともいわれる）を形成し、その内 1% が癌化するとされています。

高度に進行すると骨盤内の臓器が一塊に固着する凍結骨盤となります。

治療方法は？



低容量ピルや黄体ホルモン剤などの薬物療法で、症状を軽減したり病気の進行を抑制したりすることができます。

薬物療法では効果がない場合や、子宮内膜症性嚢胞には手術療法を考慮します。

当院では子宮内膜症性嚢胞に対し、腹腔鏡手術も行っています。



婦人科 医長 武内 務

☆当院は紹介予約制の医療機関のため、まずは、かかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。